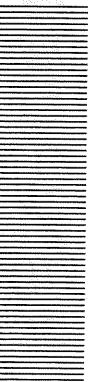


REGIONAL ECONOMY



西日本



投資の決断

②

従来設備の2倍に当たる重量1トの金属熱処理が可能な大型真空炉を導入し、8月に稼働した。既存の真空炉の老朽化に伴い、他社と差別化できる設備が必要と考え、大型炉を導入することにした。

部品受注が狙えるようになった。また、ステンレスパイプなどを縦に収容して熱処理する方法で、歪みの発生を抑えることもできる。自動制御機能によって従来比3倍の1日最大3回の稼働が可能になったほか、1回当たりの処理能力が増えたことで、人件費の低減や生産効率の向上が見込める。

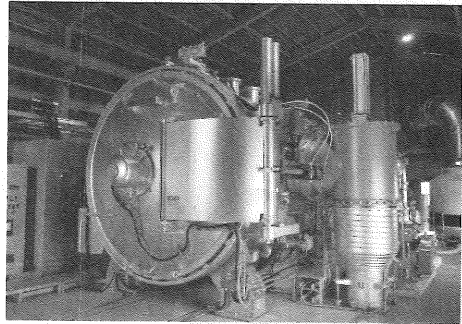


Bright Anneal

小川 真希社長

熱処理で仕事の幅広げる

大型真空炉導入、8月に稼働



新型コロナウイルス感染拡大の影響はそれほど大きくなかったが、2018年に建てた現本社工場にフレキシブルチューブの光輝焼鈍用設備を導入するなど約2億4000万円を投資していたので、新型炉導入は攻めの投資だ。ただ、熱処

新たに導入した金属熱処理用の大型真空炉を稼働して社名も変更し、若い人材の採用を増やす方針だ。新型炉導入を機に、これまで仕事が変わって来なかった熱処理にも取り組み、顧客や仕事を広げたい。景気が良くないときは設備の備えたい。格も抑えやすい。仕事の幅を広げるためにも新型炉を導入しようと思った。すでに自動車や半導体業界向けの新しい引き合いも出てき

■投資の概要■

大型真空炉導入の投資額は約1億4000万円。既存の真空炉とともに日本社工場である「真空工房」（和歌山県紀の川市）に設置した。間口が縦横それぞれ1300ミリ、奥行が1600ミリ。内容積は従来比3倍に増えた。

▽所在地 和歌山県紀の川市北勢田451の1
▽売上高 約1億5000万円（20年9月期）
▽設立 75年（昭和26年）6月

（金曜日に掲載）

（談）

REGIONAL ECONOMY



西日本



投資の決断

②

従来設備の2倍に当たる重量1tの金属熱処理可能な大型真空炉を導入し、8月に稼働した。既存の真空炉の老朽化に伴い、他社と差別化できる設備が必要と考え、大型炉を導入することにした。

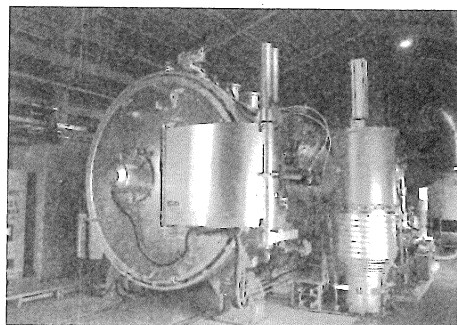
部品受注が狙えるようになった。また、ステンレスパイプなどを縦に収容して熱処理する方法で、歪みの発生を抑えることもできる。自動制御機能によって従来比3倍の1日最大3回の稼働が可能になったほか、1回当たりの処理能力が増えたことで、人件費の低減や生産効率の向上が見込める。



Bright Anneal 小川 真希社長

従来より大型の真空炉は間口が縦横それぞれ800ミリだったが、新型炉は同1300ミリと広くなった。当社が専門とする焼き鈍し加工などで、従来より大型の

熱処理で仕事の幅広げる 大型真空炉導入、8月に稼働



ほとんど大きくなかったが、2018年に建てた現本社工場にフレキシブルチューブの光輝焼鈍用設備を導入するなど約2億4000万円を投資していたので、新型炉導入は攻めの投資だ。ただ、熱処

新たに導入した金属熱処理用の大型真空炉。理加工は設備によって得られる仕事が変わってくる。世の中の景気が良くないときは設備の価格も抑えやすい。仕事の幅を広げるためにも新型炉を導入しようと思った。すでに自動車や半導体業界向けの新しい引き合いも出てき

■投資の概要■

大型真空炉導入の投資額は約1億4000万円。既存の真空炉とともに旧本社工場である「真空工房」（和歌山県紀の川市）に設置した。間口が縦横それぞれ1300ミリ、奥行が1600ミリ。内容は従来比3倍に増えた。

（金曜日に掲載）

（談）

▽所在地 和歌山県紀の川市北勢田451の1
▽売上高 約1億5000万円（20年9月期）
▽設立 75年（昭和26年）6月